

播磨平野のネプトクワガタ

(兵庫県甲虫相資料・207)

高橋 寿郎

ネプトクワガタ *Aegus laevicollis subnitidus* Waterhouse は兵庫県下に広く分布している種であるがどちらかと言えば川辺郡猪名川町、川西市を中心とした北摂に多く産している種のようにであった。最もこのあたりも開発の影響で次第に数が少なくなってきたり、体長の大きなものがなかなか採集出来ないと言うことである。ところが播磨平野での記録は案外と少ない。神戸市に属する西区太山寺とか神出町あたりに知られているが六甲山系にしても(六甲山系は摂津ではあるが)本種の記録が皆無に近い(西宮市仁川百合野町の1例がある。田中、1987)。西の方では三木市朝日丘が知られ離れて佐用郡稲藪寺迄の間での産が全く知られていなかった。

1987年9月17日小野市山田町の池畔にある樹液を流し出しているコナラの樹の樹皮を剥がしてその下から2♂そして樹の根元で流れた樹液によりやわらかくなった土の中から1♂の本種を同行の蜂谷幸雄氏が採集された(標本には全部筆者保管)。この樹液にはこの他にコクワガタ4♂1♀もきていたし、オオキマダラケシキスイ、ナガチャケシキスイ、ルイスコオニケシキスイ、ヨツボシケシキスイ、ヨツボシオオキスイのおなじみの顔ぶれが多く来ていた。またオオスズメバチが多敷きていて追いはらうのに一苦勞であった。樹皮下からはボクトウガのグロテスクな大きな幼虫が何匹も出て来て驚かされた。

この様に播磨平野の真中ではほぼ平地に近い様な状況の所にも本種がいるわけでもまだこの平野のあちこちに棲息しているのだろうと考えられる。ただ余程条件が良くなければいけないように思われる。灯火にも来るとのことであるからこのあたりもっと採集されても良いと考えられる。今回採集の3♂は体長(大腿を含む)28,22,20mmであり1♂の28mmはこの種としては大きい個体になると思われる(本種の体長に就いて五十嵐英一氏は北摂産を図示して色々有益な意見を発表しておられる。TSI・I・SO, No.517, 1987)。

いずれにしても播磨平野ではなかなかお目にかかれないクワガタムシの1つのようなものである。

末文になって申し訳無いが本種を採集され標本を御恵与下さった蜂谷幸雄氏に厚く御礼申しあげます。

(OCT.1987)

(付記) この報文脱稿後森田真澄氏から播磨平野での本種の貴重な記録の投稿を頂いた(本誌上に発

表)。やはり播磨平野にも割合いそうである。

芦屋市内におけるクロコノマチ ヨウの記録

西 隆 広

兵庫県下に定着しつつあると思われるクロコノマチ ヨウ *Melanitis phedima* CRAMERの芦屋市内における記録をとりまとめて報告する。

私がかって芦屋市内の蝶をとりまとめた時点¹⁾では本種は得ておらず、1例の報告²⁾以外に接していなかった。その後1985年に市内で複数の記録を得、また芦屋市教育研究所指導主事の古市景一氏からは氏が芦屋市立山手中学校において教鞭をとられていた間に発表された報告³⁾とその後得られた記録を御教示下さり、以下に示す計4年の記録を得た。

- ① 1 ex., 目撃, 24. X. 1980 芦屋市三条町 (山手中学校) 古市景一³⁾
- ② 1 ex., 採集, 1. IX. 1983 芦屋市三条町 (山手中学校) 古市景一
- ③ 1 ♀, 採集, 24. VII. 1985 芦屋市三条町 (高座川) 西 隆広
- ④ 1 ♀, 採集, 31. VII. 1985 芦屋市三条町 (高座川) 西 隆広
- ⑤ 幼虫多数確認, 14. IX~6. X. 1985 芦屋市三条町 (高座川) 西 隆広
- ⑥ 1 ex., 目撃, 23. IX. 1985 芦屋市奥山 (高座滝付近) 西 隆広
- ⑦ 1 ♀, 採集, 26. IX. 1987 芦屋市奥池南町 (芦屋川上流) 西 隆広

1985年は複数の記録を得ているのでその内容を示す。

③、④の記録はいずれも夏型で、③は餌付けによって昼間も同地域に出没するようになった猪が、私の姿を見て藪の中に逃げ込んだ時に飛び出して来たものである。また④は夕立の後、薄暗い谷筋を低く飛んでいたものである。

⑤は高座川の岸のススキで発見したものでその内計4頭を採集、10月14日~10月17日の間に全て羽化した。

⑥は秋型で発生確認地からやや離れた高座滝付近のアラカシの樹液に来ていたものである。発見したのは午前7時過ぎ、曇天で非常に暗く、一度は確認できなかったが再度見て発見したものである。写真撮影を行ったところストロボ光に驚いたのか林内に姿を消した。新鮮な秋型であった。